

新 潟 日 報

統合失調症を学ぶ

長 岡

統合失調症について理解を深める講演会が12日、大手通2のまちなかキャンパス長岡で開かれた。精神疾患を抱える当事者の保護者ら約20人が参加し、家族ができることな

どを学んだ。写真。県薬物依存症者を抱える家族の会(長岡市)が県の補助金を受け、自殺予防につなげてもらおうと主催した。

講師の新潟青陵大の斎藤まさ子准教授は、薬物療法で症状をコントロールする治療が効果を上げているとしながらも、「薬では完全によくならず、家族との関わりが大事だ」などと呼びかけた。

質疑応答では、参加者が「家族としてどう受け止めたらいのか」と質問。斎藤准教授は「時間をかけるうちに体験的に理解できるようにになる。そうすれば寄り添うことの必要性も自覚できるはずだ」と答えた。

